

骨密度検査（共同利用）を受けられる患者様へ

○検査当日は、かかりつけの医療機関から渡された検査申込書と本人確認のため健康保険証を持参してください。

和歌山病院の診察券をお持ちの方は、ご持参ください。



○検査日の 9:00～16:00 の間に来院してください。

当日の検査状況により、待ち時間が発生する場合がございます。

○食事制限等はありません。腰椎と股関節で骨密度を測定しますので検査部位に金属がある場合などは、更衣をお願いする場合がございます。

○検査時間は、5 分ほど仰向けで寝ていただきます。

○和歌山病院での診察はございませんので、検査結果は、かかりつけの先生からお聞きください。

○検査費用は、健康保険自己負担分を依頼医療機関へお支払いください。

骨密度検査（DXA 法）とは

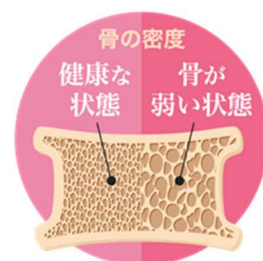
骨の強さを判定するための代表的な検査です。骨粗しょう症やホルモン分泌異常の診断が可能で、経過観察および治療効果の判定などにも利用されています。当院では、2種類のエネルギーの X 線を用いた検査法(Dual-energy X-ray absorptiometry)で骨折リスクの高い腰椎と大腿骨頸部で測定しています。診断は、日本人の若年成人平均値と比較して行います。



骨粗しょう症とは

「弱くなり、骨折しやすくなる」病気で健康な人に比べて骨折のリスクが増大します。骨粗しょう症により、ご高齢のかたが脊椎や大腿骨を骨折すると治療に時間がかかり、その間に全身の機能が低下してしまい、寝たきりになる恐れもあります。また、骨粗しょう症になると「軽く転んでしまった」「尻もちをついてしまった」「重いものを持ち上げた」程度で骨折が起こります。

そのため、骨密度を測定することは骨密度の減少を早期に発見し、骨折の原因となる骨粗しょう症の予防や適切な治療をおこなうことに繋がります。



国立病院機構 和歌山病院

〒644-0044

和歌山県日高郡美浜町和田 1138 TEL 0738-22-3256